

## 6. 環境に関するアンケート調査

### (1) アンケート調査の概要

#### 調査の目的

本調査は、第三次あきる野市環境基本計画の策定に当たり、市民、事業者を対象に環境保全及び地球温暖化対策に対する考え方や取組状況、行政に望む施策などを明らかにし、計画策定に各主体の視点を反映させるための基礎資料とすることを目的として行いました。

#### 調査方法

市民	● 住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に、郵送及びウェブアンケートを実施
事業者	● あきる野商工会会員事業者及びあきる野市農業委員会農業従事者から無作為抽出した市内事業所200社を対象に、郵送及びウェブアンケートを実施
子ども	● 市内の小学6年生及び中学2年生を対象に、タブレットを用いてウェブアンケートを実施

#### 調査期間

市民・事業者：令和6(2024)年10月16日(水)～令和6(2024)年11月4日(月)  
子ども：令和7(2025)年1月10日(金)～令和7(2025)年1月29日(水)

#### 調査対象及び回収結果

区分	調査対象者数	有効回収数	有効回収率
市民	2,000人	638人 (郵送:563 web:75)	31.9% (郵送:28.2% web:3.8%)
事業者	200社	65社 (郵送:53 web:12)	32.5% (郵送:26.5% web:6.0%)
子ども	1,332人 (小学6年生:629人 中学2年生:703人)	495人 (郵送:- web:495)	37.2% (郵送:- web:37.2%)

## 調査の概要

### 【市民】

分類	設問番号	設問概要
1)基本事項について	-	回答者の属性
2)環境への意識や考えについて	1	関心のある環境問題
	2	市の環境に対する満足度及び重要度
3)市民の環境に関する行動や考えについて	3	環境に関する行動の取組状況
	4	環境保全の取組の実施における障害
	5-1	家庭での省エネ、新エネルギー設備の導入状況
	5-2	家庭での省エネ、新エネルギー設備導入意向の理由
	5-3	家庭での省エネ、新エネルギー設備導入における障害
	6	参加・実行したい取組や活動内容
4)環境に関する言葉やあきる野市の取組について	7	環境に関する言葉の認知度
	8	市が実施している取組に関する認知度について
5)あきる野市の将来の環境について	9	市民が望む将来のあきる野市の環境像
	10	市民の環境活動をより活発にするために市が実施すべき取組
6)市民のライフスタイルについて	11	市民のライフスタイルや日常生活の中で求める要素

【事業者】

分類	設問番号	設問概要
1) 貴事業所の概要について	-	回答者の属性
	1	関心のある環境問題
2) 環境への意識や考えについて	2	環境保全、地球温暖化対策に対する考え方
	3	国の削減目標の認知度
	4-1	事業所での削減目標の設定状況
3) 目標、取組状況について	4-2	環境マネジメントシステムの取組状況
	5	環境への取組の実施状況
	6-1	再エネ等の設置状況
	6-2	発電電力の利用方法
	6-3	FIT 終了後の発電電力利用方法
	6-4	太陽光発電導入の障害となる事由
	6-5	自動車保有台数と環境に配慮した自動車(ハイブリッド車・電気自動車)保有台数
	7	PPA による太陽光発電の普及状況と、導入の障害となる事由
	8	事業者の環境保全、地球温暖化対策の実施における障害
	9	環境保全、地球温暖化対策に関して市に期待する取組
4) 市への要望について	10	事業者の環境配慮の促進に向けて、市に期待する取組

【子ども】

分類	設問番号	設問概要
1) あきる野市の環境について	1	市の好きなどころ
	2	子どもが望む将来のあきる野市の環境像
	3	関心のある環境問題
2) 環境に関する意識や行動について	4	地球温暖化による問題に関して困っている・不安に感じていること
	5	環境に関する行動の取組状況
3) 環境に関する言葉や学びについて	6	環境に関する言葉の認知度
	7	環境についての学び場

## (2) 調査結果の概要

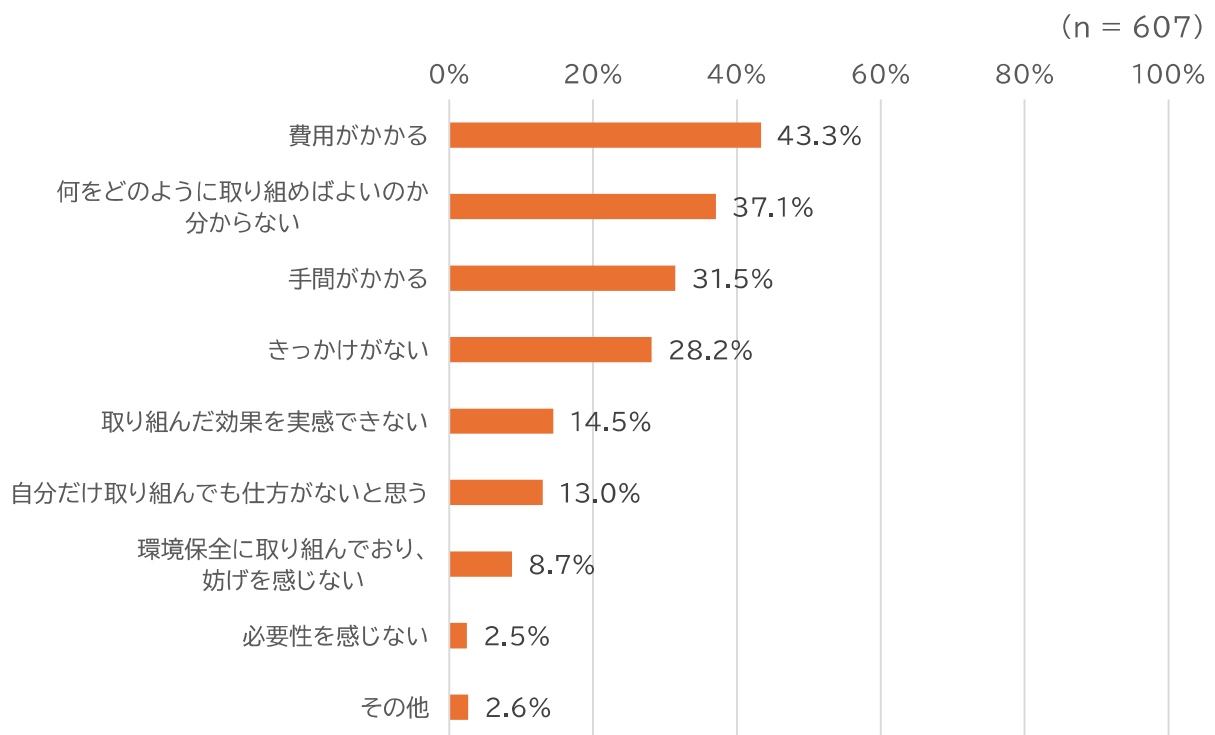
調査結果のうち、本計画の策定にあたって特に重要であると考えられる、市民や事業者、子どもの環境への意識や考えが明らかとなったものを下記に掲載します。

### 【市民】

問4 環境保全の取組のなかで、妨げと感じていることは何ですか。  
あてはまるもの2つまでに○をつけてください。

【有効回答607人、無回答・無効31人】

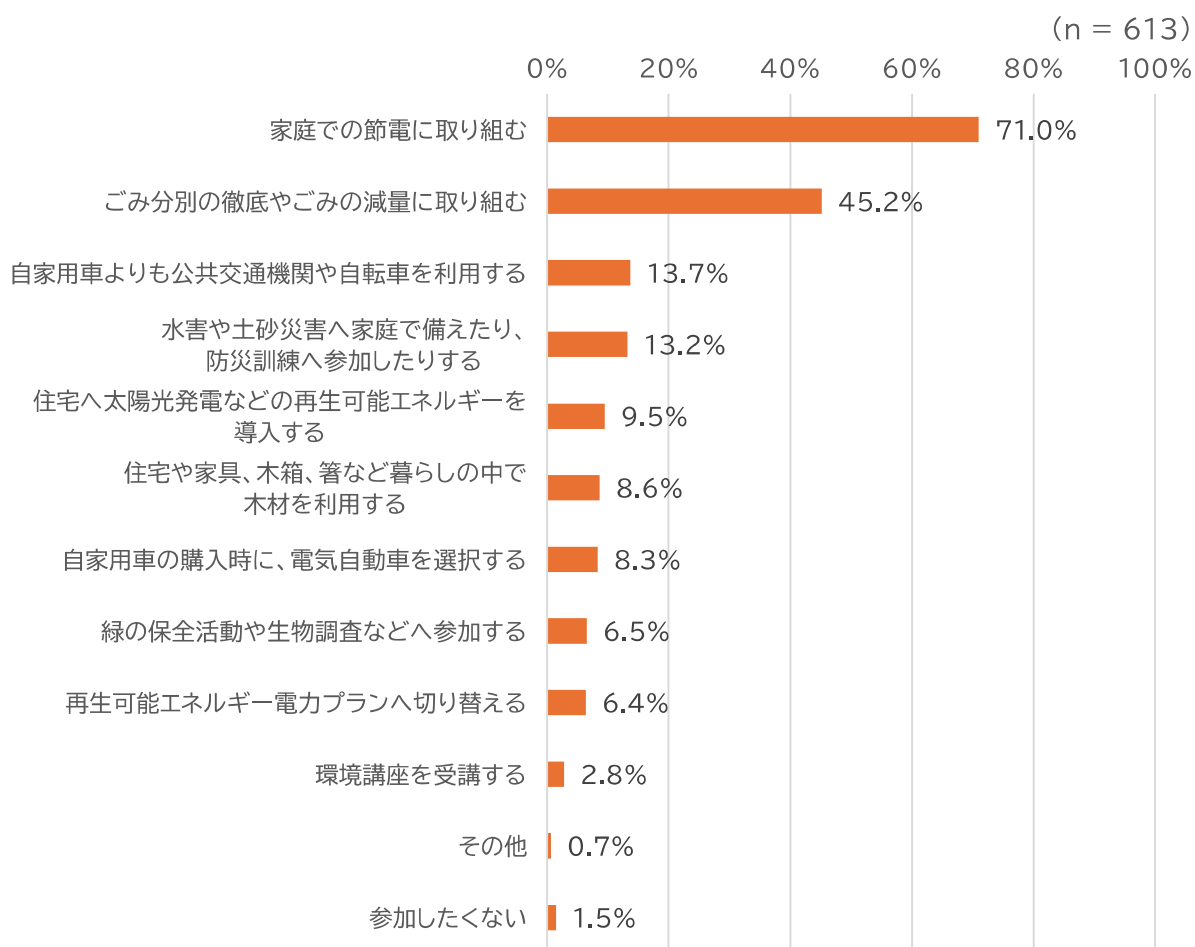
- 「費用がかかる」との回答が43.3%となりました。
- 環境保全の取組のなかで妨げと感じていることとして、「何をどのように取り組めばよいのか分からない」という回答が2番目に多くなっています。また、市民の約3割が「きっかけがない」と回答しています。
- 取組の内容だけでなく、具体的な取組方法や手順に関する情報提供や取組のきっかけとなるようなイベントの実施等が必要です。



問6 環境を良くするための取組や活動のうち、あなたが今後、参加・実行してみたいものはどれですか。また、すべてに参加したくない場合は、その理由を教えてください。  
2つまでに○をつけてください。

【有効回答613人、無回答・無効25人】

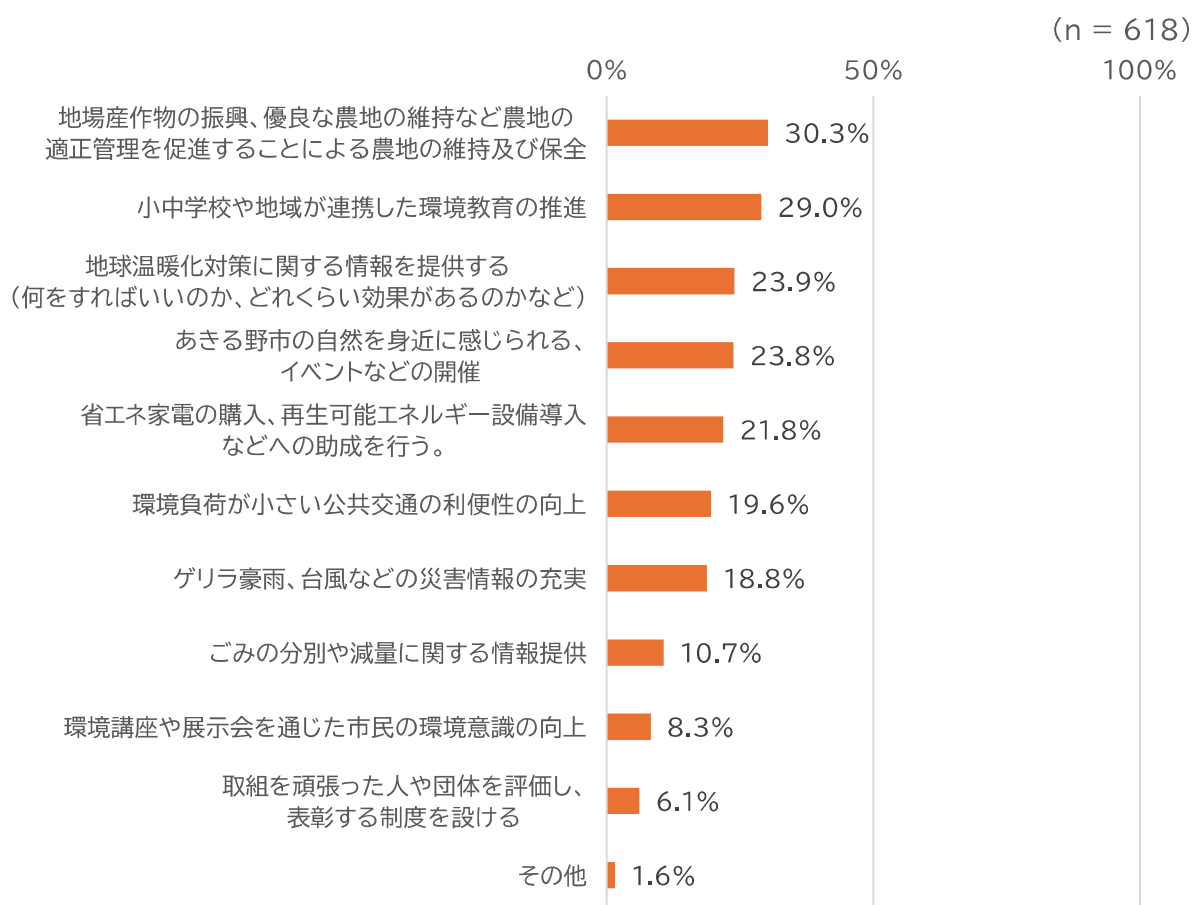
- 「家庭での節電に取り組む」の占める割合が 71.0%となり、次いで「ごみ分別の徹底やごみの減量に取り組む」が 45.2%となりました。
- 節電の取組の関心が高い反面、「再生可能エネルギー電力プランへの切り替え」や「住宅へ太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入する」を実行したいという回答が少なくなっています。
- 安心して契約できる電力プランを含む、再エネ導入に関する情報提供が有効であると考えられます。



問10 あきる野市において、市民が環境保全や地球温暖化対策の取組を積極的に行うようにするために、市はどのようなことを実施すべきだと思いますか。あなたの考えに近いもの2つまでに○をつけてください。

【有効回答618人、無回答・無効20人】

- 「地場産作物の振興、優良な農地の維持など農地の適正管理を促進することによる農地の維持及び保全」の占める割合(30.3%)が最も多いですが、いずれの選択肢も均衡しています。
- 「小中学校や地域が連携した環境教育の推進」や「地球温暖化対策に関する情報を提供する」が20%を超えており、一人ひとりの取組を促す施策が求められています。

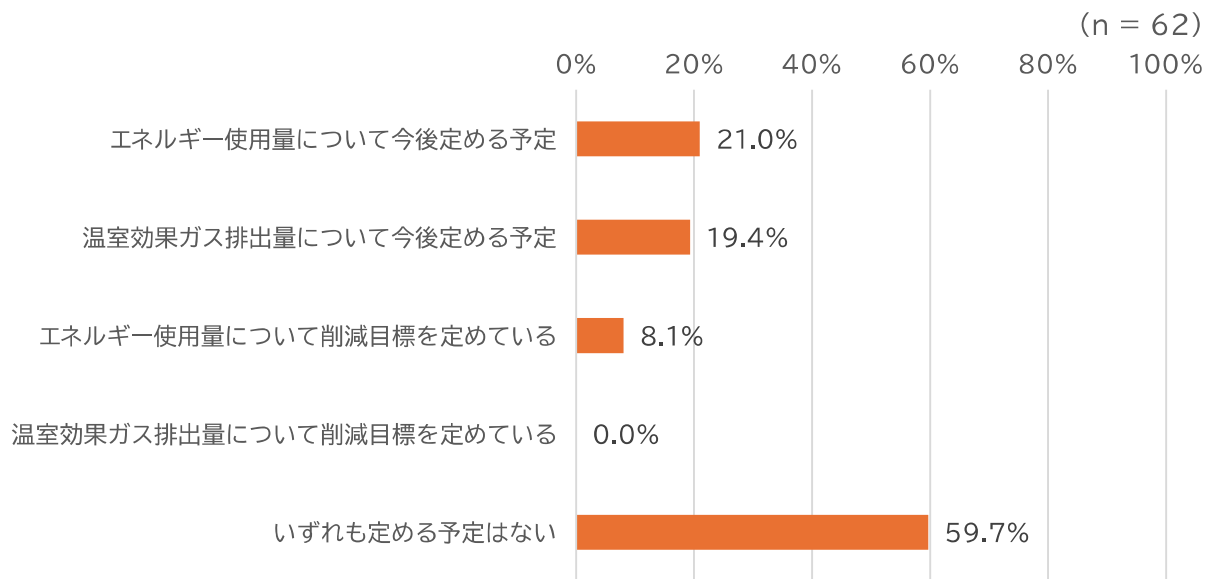


【事業者】

問4-1 貴事業所ではエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減目標を定めていますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【有効回答62事業所、無回答・無効3事業所】

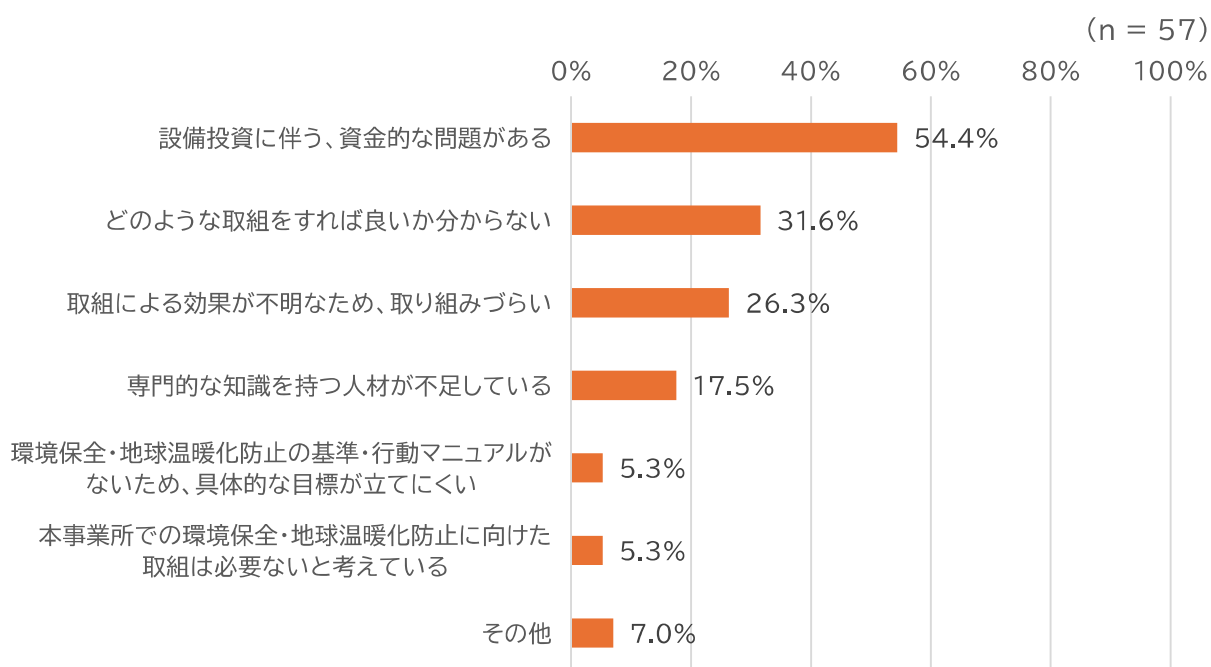
- 約6割が、エネルギー使用量や温室効果ガス削減目標を定める予定はないと回答しています。
- 事業者や市、市民が一体となって取組を推進していくために、共有の目標である国全体、事業所が属する各部門の削減目標を周知する必要があります。また、目標を設定し計画的に取組を進めるための技術的な支援が必要です。



問8 貴事業所で環境保全・地球温暖化防止に向けて取組を実施する上で妨げに感じていることは何ですか。あてはまるもの2つまでに○をつけてください。

【有効回答57事業所、無回答・無効8事業所】

- 取組実施の妨げと感じていることについて、「設備投資に伴う、資金的な問題がある」との回答が半数以上を占めています。
- 国や都の補助制度(ゼロエミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業、中小規模事業所のゼロエミッションビル化支援事業等)に関する情報提供が求められます。
- また、「どのような取組をすれば良いか分からない」「取組による効果が不明なため、取り組みづらい」という回答が多くなっています。
- 具体的な取組内容及び取組効果について情報提供していく必要があります。また、取組実施によるコスト削減効果や環境保全・地球温暖化防止に向けた取組の社会的要請が高まっており、今後取引先等からも取組実施を求められる可能性があること等、事業者にとっての取組意義を啓発していく必要があります。

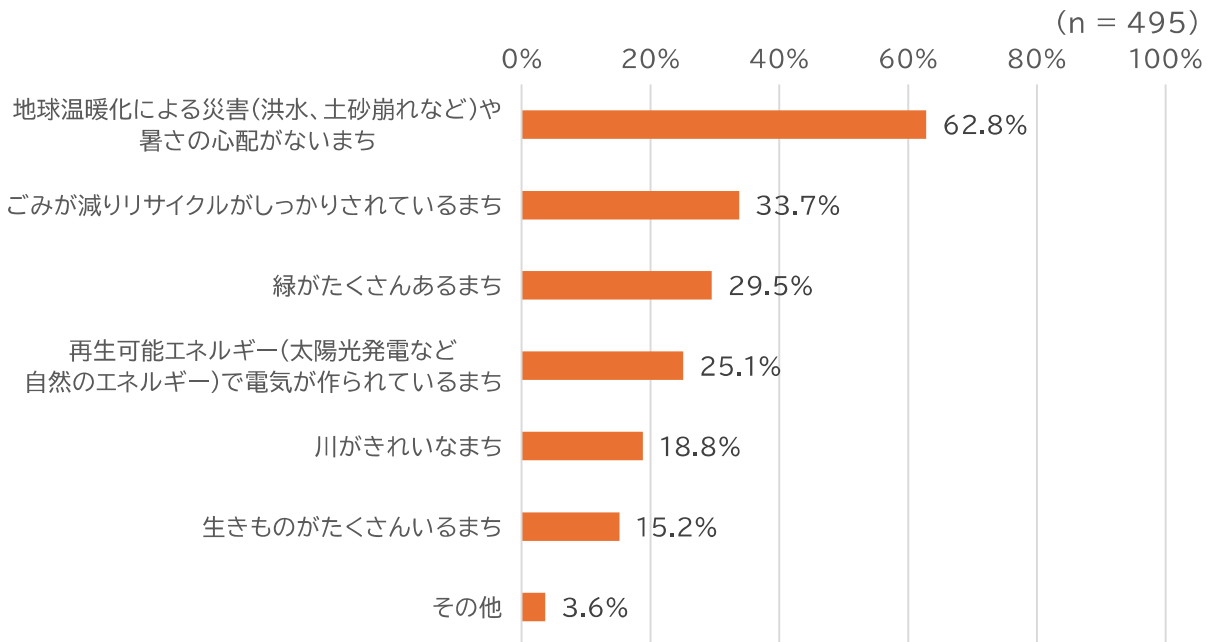


【子ども】

問2 あきる野市が将来どんなまちになってほしいと思いますか。  
あてはまるものを2つまで選んでください。

【有効回答495人、無回答・無効0人】

- 「地球温暖化による災害(洪水、土砂崩れなど)や暑さの心配がないまち」の回答が 62.8% となり、他の選択肢の2倍近くの回答となりました。
- 次世代においても、安心して暮らしを継続し続けるための環境保全が求められます。



問7 環境についてどこで学ぶことが多いか教えてください。  
あてはまるものを2つまで選んでください。

【有効回答495人、無回答・無効0人】

- 環境について学ぶことが多い場所について「学校の授業」及び「テレビ」の回答が多く、「家族との会話」は8.3%に留まっています。
- 市としては、学校での環境教育の充実が求められます。また、学校で学んだことを家庭に持ち帰り、家族で話したり、行動に移したりするためのきっかけづくりへ展開できるような働きかけが必要です。

